

羽生結弦選手「2連覇おめでとう」パレードの経済効果について

1. 概要

平成30年4月22日に仙台市中心部で開催された「羽生結弦選手『2連覇おめでとう』パレード」について、(株)NTTドコモ、(株)ドコモ・インサイトマーケティングが提供する人口統計情報「モバイル空間統計®」^{※1}により得られたデータを基に、宮城県内にもたらされた経済効果を推計した。

2. 来場者情報

パレードコース周辺エリアにおいて信号が確認された携帯電話（NTTドコモ回線利用）の利用者登録情報等から得られる人口統計情報を基に、パレード来場者に占める居住地属性ごとの人口構成比率を当実行委員会にて以下の通り推計した。

- (1) パレード来場者 108,000 人のうち、県内からの来場者は 83,000 人（76.9%）、県外からの来場者は 24,600 人（22.8%）、国外からの来場者は 400 人（0.4%）と推計
- (2) 県外からの来場者 24,600 人のうち、約半数の 12,500 人（51%）が宿泊を伴う来場と推計

※データ提供元：(株)NTTドコモ、(株)ドコモ・インサイトマーケティング

3. 経済効果

上記2の「モバイル空間統計®」により得られた来場者情報を基に、仙台大学体育学部講師 弓田恵里香氏による本パレードの経済効果の推計を行った。

推計にあたっては、宮城県発表の観光統計概要^{※2}、及び観光庁発表の訪日外国人消費動向調査^{※3}から得られる観光客一人あたりの平均消費額と、パレード運営費や応援グッズ制作・販売に関する費用等を宮城県産業連関表（延長表）経済波及効果分析ツール^{※4}に入力することにより算出した。

この結果、直接効果が約 11.4 億円、直接効果から生じる各産業への波及効果（1次、2次）が約 7.1 億円、併せて約 18.5 億円が本パレードによる経済効果と推計した。

【表1 経済効果の内訳】

経済効果	直接効果	11.4 億円
	1次・2次波及効果	7.1 億円
	合計	18.5 億円

※1：「モバイル空間統計」とはドコモの携帯電話ネットワークのしくみを使用して作成される人口の統計情報。1時間ごとの人口を、24時間365日把握することが可能。国内人口は性別・年齢層別・居住エリア別、訪日外国人は国・地域別の人口構成を知ることができる。（「モバイル空間統計®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。）

※2：平成30年11月9日宮城県発表 「観光統計概要：H29年」（P12）参照

※3：平成30年7月18日観光庁発表 「観光統計：訪日外国人消費同国調査2018年4-6月期」（P8）参照

※4：産業相互間及び産業・最終消費間の取引を一覧表にまとめたもので、その表から導き出される係数を用いて、経済効果を分析することが可能なツール。平成30年11月時点で最新版である、平成25年の分析ツールを用いて算出した。